

ナノプローブテクノロジー第167委員会 第80回研究会
「有機材料、有機デバイスとナノプローブテクノロジー」

有機材料、有機分子素材に関する近年の研究進展や技術開発動向について最前線の研究者から研究紹介と情報提供をいただき、当該領域における今後の方向性や期待されるブレークスルー、それらに対してナノプローブ技術がどのように貢献できるのかについて議論を行う。

日時：2015年10月20日（火）～21日（水）

場所：東北大学電気通信研究所（RIEC）本館 6F 大会議室

プログラム（1日目）

10月20日（火）

13:00～13:10 事務連絡

13:10～13:40 「デバイス部材としての有機材料 ～現状と展望～（仮題）」

吉田 郵司 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域研究戦略部

13:40～14:10 「極性分子の配向分極現象と有機薄膜素子の界面特性」

野口 裕 明治大学 理工学部 電気電子生命学科

14:10～14:40 休憩

14:40～15:10 「有機トランジスタ式ガスセンサ

～有機の多様性を生かしたガス選択性向上～」

森 朋彦 豊田中央研究所

15:10～15:40 「DNA ナノテクノロジーによる機能性ナノ構造体の構築と評価」

杉山 弘 京都大学大学院理学研究科 物質細胞統合システム拠点

15:40～16:10 「誘電ナノデバイス研究室の紹介」

長 康雄 東北大学 電気通信研究所

16:10～16:40 「有機、分子材料に関する SPM ロードマップ」

田中 秀吉 情報通信研究機構

17:20～19:00 懇親会 東北大学電気通信研究所(RIEC)本館 5F ラウンジ